

『真昼のユウレイたち』

J 913 / イ

岩瀬 成子 / 作 芦野 公平 / 絵 偕成社

あの子、幽霊なのよ。あたしの妹なの。日常の中で、ふと幽霊に出会う子どもたち。「海の子」をはじめ、子どもたちの生き生きとしてユーモラスな会話のやりとりも魅力的な、どこかおかしくて、切なさが胸にしみるゴースト・ストーリー。

『七不思議神社』

J 913 / ミ

緑川 聖司 / 作 TAKA / 絵 あかね書房

七節町に引っこしてきた小5のリクは、神社で風変わりな少年タクミと出会う。絵馬に七不思議をかくと願いが叶うと聞き、町の怪談を集めにいく…。10の怪談とリクの1日がおりなす物語。

中学生・高校生(YA)

『十代最後の日 こわい物語』

J 913 / ア

赤川 次郎 / 作 汐文社

友也は16歳の時、「死神」と取引をした。幼なじみの香子の命を助けるかわりに、友也自身が20歳になる前日に死ぬと。そしてついに、恐れていた10代最後の日が訪れ…。思わず背筋が凍る恐怖の物語をあつめたホラー作品集。

『いまにヘレンがくる』

J 933 / ハ

メアリー・ダウニング・ハーン / 作 偕成社

もりうち すみこ / 訳
郊外の古い教会へ引っ越してきたモリーとマイケル、そして再婚した父親の連れ子ヘザーの3人きょうだいの物語。心に傷を抱えた妹と、恐怖のなかでもかのじょ すぐ あね ま ことく ゆう霊ヘレンだった。

『あやかし草子』

J 913 / ナ

那須 正幹 / 作 タカタ カヲリ / 絵 日本標準

真は、プールで解剖実験につかうために飼っているフナを見つけた。じっくり見たくてプールに入った真は、気づいたら魚の体になっていて…。『ゲンゴロウブナ』をはじめ、全5編を収録。江戸時代の怪談集「雨月物語」を現代によりみがえらせた美しくもおそろしい短編集。

『フランケンシュタイン』

J 933 / シ

メアリー・シェリー / 原作 松原 秀行 / 作 ポプラ社

理想の人間を描き、死体から怪物を生み出したフランケンシュタイン青年。しかし怪物の醜さに絶望した彼は逃亡する。創造主に見捨てられ、孤独に陥った怪物は…。



『異界のミステリー』

J 913 / イ

山白 朝子 / 作 近藤 史恵 / 作 汐文社

皆川 博子 / 作 竹本 健治 / 作
日常の世界にひっそりと寄り添う存在に気づいたとき、あなたの現実が揺らぎだす。異界をテーマにしたミステリー・アンソロジー。

『中学生までに読んでおきたい日本文学 8』

YA 918 / オ

こわい話 夢には楽しい夢もありますが、とてもこわい夢を見ることもあります。そういう悪夢を見たときは、目覚めてホッとしつつ、その奇妙な世界での体験を誰かに語りたくなることもあるでしょう。ここに紹介するのは、そういう夢の不思議な感じを見事に作品化したものです。

